

CHIBA MAKUHARI ROTARY CLUB



千葉幕張ロータリークラブ週報

第 1974 号 2025 年 11 月 25 日 天候 晴れ 写真 川上良子 執筆・編集 事務局

☆☆ 会長挨拶 ☆☆☆



放生 知晃 会長

皆さま、こんにちは。
例会場での例会は 11/4
以来となり、その間に
行われた当クラブの活動
についてご報告させて
いただきます。

まず 11/7 に第 3 グル
ープの合同ゴルフコンペ

が開催され、早朝から多くの方に設営や司会進行
までご尽力いただきました。前橋 A G 担当幹事を
中心に企画していただき、幕張らしい会になった
と感じております。

次に 11/8 に植草学園大学の学園祭に合わせて
アートフレンズ展 in UEKUSA が開催されました。
私は朝早く見学に伺い写真を撮ってグループライ
ンに共有しました。多くの来校者に見いただき
好評だったと承知しております。また同日に地区
主催のクラブ活性化セミナーに参加しました。地
区では理念委員会、ラーニング委員会、RLI 委員
会の三委員会企画し、ワークショップ形式での
グループ討議を中心に進められました。最近始ま
った「ロータリー相談室」に関する問いへの回答
を私たちが相談員役として考えるグループワーク
を行い、その後に『ロータリーの友』編集長から
企画にまつわる裏話を伺うことができ、大変興味
深い内容でした。

11/9 には青少年交換派遣のオリエンテーショ
ンが行われ、派遣生の事前説明と帰国留学生の報
告会が催されましたが、私は出席できず富山青
少年奉仕委員長に出席いただきました。

11/11 には台湾蘆洲 RC の皆様が来日され歓迎
例会を開催しました。国際奉仕委員会が中心とな
って企画してくださり、できる限りのおもてなし
をして歓迎できたと考えております

さらに 11/11 には管理運営セミナーに参加しま
した。地区の会員増強・基盤向上委員会、広報・
公共イメージ向上委員会、フェローシップ・親睦
委員会の合同企画であり、基調講演の後にワーク
ショップを実施しました。地区のセミナーはワーク
ショップ中心の傾向が強くなり、各クラブの課題を
話し合っ自クラブの位置づけを再認識する良い
機会となりますが、私自身は同様のワークショッ

プが続くことでやや飽きが来ている点も正直に述
べさせていただきます。なお今月は財団月間
であり、本日の例会では宇佐見さんに卓話をお願い
しました。理事会の報告につきましては、お手元
の理事会議事録をご参照ください。来週は年次総
会があり次年度役員人事の承認をいただく運びと
なっておりますので、大変お忙しいところ恐縮で
すが皆様のご出席を賜りますようお願い申し上げ
ます。

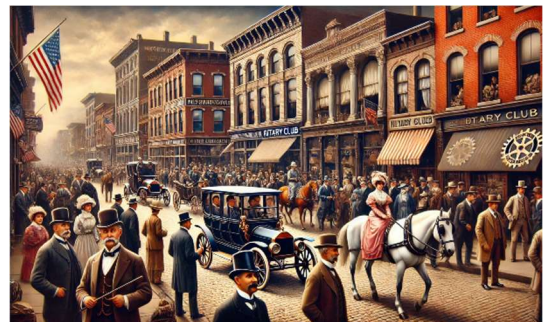
☆☆財団卓話☆☆

クラブ財団委員長 宇佐見 透 PDG

演題『財団のイロハ』

こんにちは。今月は財団
月間ということで、財団
の活動と資金についてご
説明します。

まず結論として、今年
度は前期・後期それぞれ
75 ドルの寄付を皆様にお
願いしており、昨年度からの制度によりクラブと
しての財団寄付はほぼ達成できています。しかし
現在最も不足しているのは「ニコニコボックス」
に集まるクラブ自主の資金であり、これが社会奉
仕や国際奉仕などクラブ事業の原資となるため、
皆様の継続的なご協力をお願いいたします。



冒頭にシカゴ訪問の話をししましたが、ポール・
ハリスらが 1905 年にシカゴでロータリーを立ち

上げた当時、都市化と移民流入に伴う社会問題（低賃金労働、スラム化、衛生悪化、犯罪の増加など）があり仲間づくりと信頼関係を基礎にビジネスや友愛を促進する目的でクラブが設立されました。初期のロータリーは会員選定が厳格で、一業種一社制などでクラブ内の競争を避けつつ信頼できる仲間を形成して商業活動を円滑にする役割を果たしました。その後、ドナルド・カーターの提唱で公共事業への関与が重視されクラブ活動は次第に地域や社会に資する方向へ変化していきました。これによりロータリーは単なる社交・ビジネスの場から公益性を持つ団体へ発展しました。

国際ロータリー（RI）とロータリー財団（The Rotary Foundation, TRF）の関係についても説明します。

財団の父 アーチクランプ

財団は1917年に創設が提起され、その後の寄付や遺贈などで発展した経緯、そして今日では交換留学、奨学金、平和フェローシップ、マッチンググラントなど多岐にわたる国際的プログラムを支えています。財団寄付の形態には年次寄付や特別寄付（ポール・ハリス・フェローやベネファクターなど）があり、当クラブにはメジャードナーが複数いらっしゃいますので、クラブ全体として財団への貢献度は高いと思います。



クラブ内の状況としては、地区が求める150ドル相当/年個人（年次寄付）の要件は自動的にクリアしており、昨年度は一人当たり年次寄付額で地区内第3位、100%ロータリー財団寄付クラブ認証を獲得するなど表彰実績がありました。また、米山奨学金関連の表彰や、国際奉仕事業における補助金獲得の実績も当クラブは地区・国際レベルの事業推進で一定の成果を上げております。

しかし一方でクラブ独自の活動資金が枯渇している点が深刻です。先輩会員による基金やクラブ内の備蓄資金が減少しており、例年実施してきた社会奉仕や周年事業の不足分を補うための資金が足りなくなってきました。とくに次年度はクラブ創設40周年のプレ年にあたり、記念事業等のための資金調達が重要になるため、クラブ自主の資金基盤を強化する必要があります。そこで理事会の承認を受けて「ニコニコボックス」の活性化を図り、会員一人当たり年間3万円の協力を目標

に取り組むこととしました。各例会・クリスマス・年始・ガバナー公式訪問、花見、最終例会等を通じてベテラン会員の継続的な支援が推進力になると期待しています。前期の実績では例会回数が少ないにもかかわらず約40万円が集まり、年間100万円の目標は達成可能と見込んでいますが、社会奉仕と国際奉仕を継続するには後期の更なる積み増しが必要です。具体的な協力方法としては、毎月の定額寄付（例：毎回1,000円、あるいは毎月3,000円）でも構いません。会員各位の定期的な寄付によって年間3万円の協力を目指したいと考えています。皆様のご支援をお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

委員会報告

行方社会奉仕委員長

・本日、例会後13:45より第27回アートフレンズ展の実行委員会を開催いたします。
みなさまご出席をお願いいたします。

幹事報告

高橋 潤一 幹事

・只今ご案内中の各行事の出欠の返信をお願いいたします。



《ニコニコBOX》

- ・ゴルフコンペ、蘆洲歓迎例会お疲れさまでした！
放生知晃会長
- ・宇佐見さん卓話ありがとうございます。
高橋潤一幹事
- ・財団月間に因み卓話をさせていただきました。厳しい昨今ですが皆様何卒ご協力をお願いします。
宇佐見通 PDG
- ・宇佐見 PG 卓話ありがとうございました。財団卓話
といえばニコニコ必須ですよ！！ 萬燈知永子
- ・日曜日に初孫のお宮参りに行ってきました。
富山 保昭
- ・遅れましてすみませんでした。
岩井田晴信
- ・寒くなりましたね
長谷部 浩

11/25 合計¥23,000 累計¥448,299

出席率

日付	会員数	欠席	出席	出席率
11/25	32	13	19	59.38%
11/11	32	全員	登録	100.00%(確)

RI 会長メッセージ:

「よいことのために

手を取りあおう」

UNITE FOR GOOD

会長 放生 知晃 会長エレクト 萬燈 知永子
幹事 高橋 潤一 次年度 幹事 原 秀明
会報委員長 川上 良子

例会場 TKP 東京ベイ幕張ホール

Tel: 043-296-1112

事務局 〒260-0027 千葉市中央区新田町 12-1 トーシン千葉ビル 7F

Tel: 043-245-3206 Fax: 043-245-7525

E-mail :makuhari-rc@niik.jp HP: <http://makuhari-rc.jp>